



●Fashion Life in London ⑧ 私のジャパニーズ・スマイル

柴田 啓嗣

（柴田商事物企画室長）

ロンドンでは、生活習慣の全く違うことにとまどうことが多かった。思うに日本は、あまりに国際化しすぎてしまっている。生活のマナーにしろ、服装にしろ、あらゆる面で雑多の国の様式が入り混じり、かえって、そのなかで本当のものをつかむことが困難になっている。その点イギリスはまだ、人々が確固とした自分たちのやり方で生活が続けている。だから外来者にとってはとまどうことが多い。

ロンドンに着いてまもない頃、私はまだ人々の話す英語もよく理解できず、失敗ばかり重ねていた。



パーティで友人夫妻と筆者（右）。

若い友人たちのディナー・パーティに、私も招待されていた。ガールフレンドと一緒に来いよ、といわれていたけれど、気軽に同伴できる女友だちを、まだ私は見つけていなかった。パーティには、フランスやハンガリーの国籍をもつ人たちも集まっていて、彼らはいかに楽しげに飲んだり語ったりしていた。私は会話に加わる英語の自信もなく、みんなの話しぶりを

聞いてただニコニコしているよりしかたなかった。それでも、こうやって若い仲間たちと同居して過ごす時間に満足していた。しかし彼らにとっては、なかにひとり会話に加わらないものがあるということは、気づまりのタネであつたに違いない。ひとりが、

「おまえはなんでそんなふうに黙っているのか？」と尋ねてきた。

私はそれにもうまく答えることができず、やはりただニコニコしてただだった。

別のひとりが、

「おもしろいアニマル（彼はそういった）がいると思つて見てんだらう」という。これは明らかに嫌や味だ。私は何もいいうがなかった。

パーティで、ただ黙ってニコニコしているというのは全く礼儀に反する。パーティの楽しい空気をこわすもとだ。それがわかっていながら、私は自分の気もちを伝えることができず、そんな自分にいらだつていた。私にはパーティの雰囲気をごわす気なんか毛頭なかったのに。

パーティを引きあげると、くやしさがどつとこみ上げてきた。日本語がむしろにしゃべりたくなって、帰りの道、大声で日本の歌を歌うと、涙がこぼれてきた。

日本人だから、英語をペラペラしゃべれなきゃいけない、ということはない。ないけれど、ディナー・ジャケツを着てパーティに出るということは、そういった場でのマナー、ルールに当然従うということだ。こちらは日本人だから、といって日本流のニコニコ社交で通せるというものではない。いちおうのカッコウを整えて参加するからには、それなりの内容を持っていて当たり前



イギリスで最も紅茶のおいしいリッツホテル。イギリス人は紅茶にうるさく、本当の紅茶というのは日本人の感覚からいえばとてもウスイ。ミルクを入れると紅茶の味がわからないほどの。濃い紅茶はローリー・ティといってジャリトラの連ちゃんの飲むもの、とされている。

とき、私はこんなふうにした。

「僕はこの沈黙を楽しんでいるんです。今、君たちと一緒にいて話を聞いていることがすごく楽しい」と。すると彼らは、ベラベラしゃべって悪かった、と恐縮し、私のために少しテンポを遅くして話してくれる。別れるときには、今日のパーティは国際的でとても楽しかった、と私にも握手を求めてくる。

難しい言葉を使えるかどうか、ではなく、相手を不快にしない心づかいと言ひ回しを考えることだ。こういった発想は実地に慣れて学んでいくしかない。

イギリス人はたいへん社交好きである。そのやり方も洗練されている。仕事のうえでのつきあいも、夫婦単位で家庭に招待し、奥さんの手料理で款待するのが最高のもてなしである。

パーティで、食事を終えると、女性たちはそろって隣のゲストルームに移り、男性はそのまま食事のテーブルにとどまるというのが習わしになっている。男性連はチンザノのような酒をまわし飲みしながら、仕事の話を進めるのだが、この席で、今まで女性と食事をする間、すまじきっていた男性が、うってかわって勢いこんでエッチな話を始めるというの、これもまた常である。

この男性だけの会話のなかでは、女性のことをバード（小鳥ちゃん）と呼ぶ。いかにも女性を軽くあしらっているといったふうな、この呼び方は、ふだん女性に押さえつけられているロンドン紳士の無力な抵抗ではないかと思っている。

いかげん男だけの好き勝手な話をしたのち、再びすました顔の男性たちは、バードたちの待つゲストルームに移る。

ところで、女性たちは、別室で女性だけの話に花を咲かせているとき、彼女たちも男性に劣らないほどのエッチな話をしているんじゃないだろうか、と憶測するのは私だけだろうか。

というわけだ。これが、日本のキモノを着てパーティに出るといふなら話はまた別で、彼らは私をあくまで日本人として扱ってくれるだろう。私のための話題も選んでくれるだろうし、発音もゆっくりとしゃべってくれるに違いない。だけど、ディナー・ジャケットを身につけて彼ら流のカッコウをつけたときから、彼ら流のマナーを知っていなければいけない、と、これは私が実際の場で身をもって学んだ。

九カ月のロンドン生活で、その後半になっても、相手にベラベラまくしたてられると言葉がわからないということとはよくあった。しかし、パーティでまたしても会話の渦に乗りきれず、ニコニコ聞いているしかないような

世界の福祉施設

欧米の心身障害者を訪ねて

橋本 明著 〈カラー8ページ、本文320ページ、定価 1000円〉

〈社団法人家庭養護促進協会事務局長〉

送料 200円



●福祉時代の幕開けです。あなたも一冊ぜひどうぞ！

主な内容

- 神戸からシアトルへ
- クライシス・クリニック
- グッドウィル・インダストリーズ
- 里親発見活動
- フォースター・グランドペアレント
- ファーストアベニュー・サービスセンター
- ボランティア・ビューロー
- 病院におけるボランティア活動
- レニア・スクール
- アメリカのグループホーム
- 社会福祉とPR活動
- 砂漠の中の老人の町
- ボーイズ・タウン
- パーキンス盲学校
- スボック博士の子供博物館
- アビリティーズ
- ロンドンのバーナードホーム
- 奇蹟の町・ルルドを訪ねて
- コベンハーゲン老人の町
- ベータール——西ドイツの障害者の町（ドイツ）
- ヘット・ドルプ——未来を拓くオランダのコロニー（オランダ）

各書店で好評発売中！

振替口座 神戸四五一九六

お申込みは月刊「神戸っ子」編集部まで。神戸市生田区東町113の1 大神ビル7F TEL(331)2246

★神戸の集いから

□神戸のバリ祭

夜は更けて

7月14日はバリ祭。神戸でも例年開かれる日仏協会の主催でバリ祭のパーティが7月14日の夜、相楽園会館で開かれ、約500名近い人々が集まった。

フランスと日本の国旗が鮮やかに飾られた室内は、国際親善パーティとあって、各国の人々が、夏の夜の装いをこらして集まり、華やかなムード。

一年に一度の交流会は、シャンソンが流れ、食べて、雑談するというシンブルパーティだった。



国際色ゆたかなバリ祭

□「生田いまむかし」発刊を祝い

二百人が集う

7月4日午後四時から生田神社会館にて生田区誌「生田いまむかし」発刊記念パーティが開かれた。同誌は生田区振興連絡協議会（竹馬準之助会長）が編集発行したもので、区誌としてはこれまでにない豪華なもの。会長が「生田区の永遠に残る記念誌として自負する」とあいさつすれば、来賓の狩野神戸市助役も「すぐれた取材、りっぱすぎるほどりっぱ」と絶賛。柴田生田区長の音頭で乾杯、和やかなパーティであった。

「生田いまむかし」のパーティ風景



「生田いまむかし」のパーティ風景

★神戸っ子トラベルコーナー〈I〉

●ユニークな海外旅行いろいろ

①東アフリカ・サファリへの旅

昭和50年12月26日～51年1月11日（17日間）

¥650,000

定員12名（サファリバス2台）

グン切50年10月31日

エスコート／福岡康年（アフリカスペシャリスト）

②ロッテルダム号（オランダ客船38,000トン）船旅

バンコック（51年3月8日）パタヤビーチ避暑地→ロッテルダム号→香港（51年3月14日）

→広州1泊2日のツアー予定中→神戸港（51年3月20日）

¥650,000ファーストクラスバス付

定員20名申込みグン切日 昭和50年12月30日

③プリゼンダム号（オランダ船1万トン）船の旅

香港（51年4月29日連休初日）→基隆（51年5月2日）→神戸（51年5月5日）¥250,000

グレイド 定員30名申込みグン切 昭和50年12月30日

④～⑥ともに取扱代理店は

ドッドウエルトラベルサービス／神戸（251）0021 大阪06（443）8722 東京03（211）2141内線754

★お問合せお申込みは神戸っ子トラベル係へ TEL078（331）2246

⑦ヨーロッパ冬の旅

新年をローマで迎えよう

75 12月20日～76 1月10日（22日間）

¥348,000

東京→アテネ→イスタンブール→ソフィア→ベオグラード→ヴェニス→フロレンス→ローマ

→マドリッド→ジュネーブ→パリ→東京

オリエンタル急行で訪ねる東欧の香り

申込金¥50,000（定員30名／ローン可）

⑧ニュージーランドの旅

I ニュージーランド1周12日

昭和50年8月24日（日）9月14日（日）

11月2日（日）12月28日（日）昭和51年2月8日（日）

〈全行程3食付〉¥538,000

II オーストラリア・ニュージーランド

ラトンガ・フィジー14日

昭和50年10月5日（日）12月28日（日）

昭和51年2月8日（日）

〈全行程3食付〉 ¥615,000

取扱い 日本旅行 神戸中央営業所

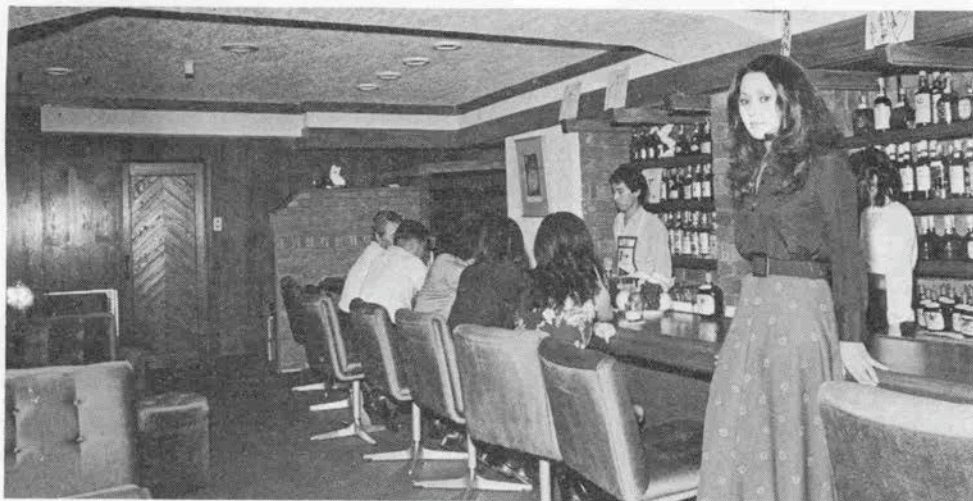
神戸市生田区元町通1丁目8 ☎321-4531

★お問合せ、お申込みは神戸っ子トラベル係 ☎331-2246



SALON KOB EjIDAI

“神戸時代” ちょっと変った名前ですが新しい神戸時代を目指したサロンです。北野町・山本通界わいのファッショナブルなサロニー神戸っ子の憩いの広場。談論風発のサロンにもなり、ミニパーティがひらかれたり、ミニ発表会が行なわれたり素晴らしい情報交換の場になります。



SALON 神戸時代

神戸市生田区中山手通 1 丁目 28
モンシャトーコトブキビル 1 F
TEL. 242-3567



蟹料理の店

かに料理の店



はさら
ばさら
蟹

神戸・三宮阪急西口北側レインボーブラザ
☎(078)321-6363

熟練の調理士が
新鮮な材料をぜいたくに使い
新しさを加味し盛りつけます。

但馬水軍船料理

但馬料理

山海の滋味ゆたかに季節を
盛りあげます。

◆ 1・2階



山崎屋 直営店

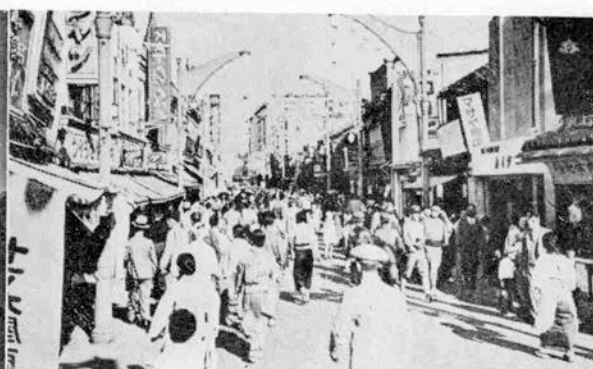
心にのこる OLD KOBE

元ブラ賛歌^{（上）}

あおば しげる



明治30年ごろの元町 5丁目



昭和初年の元町 4丁目

★鈴蘭灯が“元ブラ”の愛称の 生みの親

戦後になって三宮が神戸市第一の繁華街となり、セン
ター街の人通りが急増し出してから、戦前神戸の最も代
表的な大通りだった元町通りの影が薄くなった感じだ
が、その後したいに立ち直り、今日ではセンター街と肩
を並べて神戸市東西の両横綱となったことは同慶のい
たりである。とりわけ、昔のすばらしい元ブラ（元町を
歩くこと、ブラつくこと）を試みた経験のある人々にと
ってはこのうえもなくつかしく、かつうれしい回復ぶ
りである。

しかも近代的なモードとしにせ（老舗）としての落ち
着きが併存している点では、さすがに戦前東京の銀座
（銀ブラ）と大阪の心斎橋筋（心ブラ）と並んで日本の
三大メイン・ストリートとうたわれた名物通りとして、
戦後派のセンター街その他の大通りなど、とても及ぶと
ころではない。元町に集まる、静かだが、充実した人
気は日増しに高まりつつあり、このうえにセンター街
以上の人出が見られるようになれば、鬼に金棒である。
いや、人出も近頃にはわかにふえつつあるから、そのうち
名実ともに神戸一、さらに日本一のハイカラでしやれた
元町通りが再現するのではないかと思う。そうならば、
元ブラも昭和初期の、あの心楽しく、いつも行き交う人
々のすべての目が新時代の風物への期待とあこがれに満
ち、元ブラを誇りと感ずる人氣が再び戻ってくることは
まちがいない———といいたい。

ここで元町通りの古い歴史についてあらまし紹介し
ておこう。元町通りは江戸時代の西国街道のことで、元
町という名前が生まれたのは明治七年五月二〇日からで
ある。神戸開港を機に、全国から人が集まりまたたく間
に家がふえたため、だれいうとなく、「この辺は神戸の
元の町や、元町や」と呼ぶようになったのが原因であ

る。開港後、元町は外国艦隊の兵士や外交官などに提供された居留地を東に隣接、この頃からハイカラ・ムードが街の特徴となってゆく。その新しい文化商売の現われとして、早くも明治三年に神戸村に市田左右太が市田写真館を開き、同じく元町とは因縁の深いせんべいもち（瓦煎餅）が売り出されたのもこの年。明治六年には元町六丁目に神戸ではじめての、いや日本でもまだ珍しかった牛肉屋の「月下亭」が開かれた。木造三階建てで、店頭で農具のクワを鍋の代わりに使った肉鍋を売っていた。一方学校もこのあたりに開校され出す。元町三丁目にすでに神戸ではじめての洋学伝習所ができ、米国人ピキローが教務にあたった。明治六年二月には元町三丁目に神東小学校が、元町四丁目に神西小学校ができ、それまでの寺小屋は姿を消した。この両校が、現在の神戸小学校の前身である。同七年になって女性の丸マゲが多く見られるようになる。三菱会社神戸支店某氏の妻女が東京から持ち帰った結髪法だといわれ、注目を集めた。神戸で最初のキリスト教会が誕生したのも同年であるが、当時は「組合教会」と呼ばれた。

明治三〇年頃になると、居留地に住む外人のために、元町通りの各店頭にも英字の看板がめだつようになり、ユニークな広告がふえた。居留地や元町通り、そのあたりの街々の電柱やガス灯、また鉄輪の人力車がいたるところに見られるようになったのも明治調である。また、通行人などに「みかん水」を売る屋台店が見られたのも、明治生まれの神戸っ子にとってはなつかしい思い出だろう。

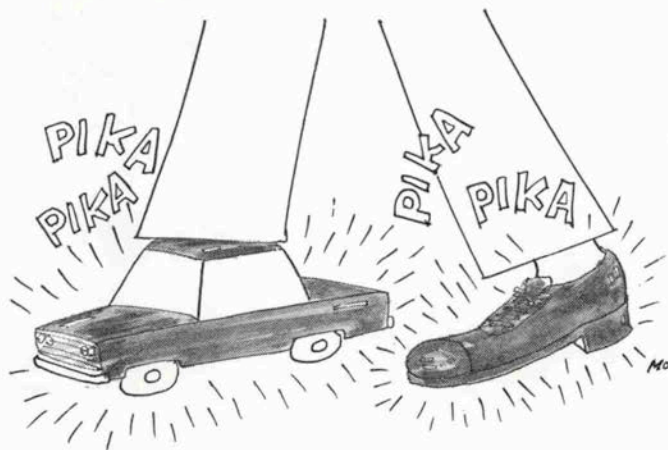
大正になると、新しい時代の流れは元町通りをさらに新装する。まず元町通りにアスファルトが敷かれて近代化への第一歩が力強く踏み出される。つづいて第一次世界大戦による「大正景気」が元町にも到来、元町を行く人々の表情にも活気があふれ出す。大正五年頃から夏には道行く男性たちの間に「カンカン」帽が流行し出したのも昔なつかしい風景。女性の洋装がふえ出すのは大正

も末頃からである。明治末から元町通りの店頭には英字がめだつようになったことは前に書いたが、大正中期ともなると、看板文字や広告の仕方や宣伝文もようやく派手になってきたが、店舗の階上いっぱいにおおような大模型（鯛、タイや時計、糸巻き、クジャク）などがとりわけ人々の注目を集めたものだ。大正一〇年三月に行なわれた神戸開港五〇周年記念祝賀には、元町的全店が軒先に市章入りの記念ちょうちんを吊って祝い、元町通りには祝賀の時代行列や芸妓の三味線の列が相ついで通り、花やかな気分を振りまいて、道行く人々を喜ばせるとともに、新開地大通りと並ぶ神戸のメイン・ストリートとしての元町通りへの神戸市民の認識と共鳴を深めるようになった。さらに明治、大正初期から神戸名物となった元町の「誓文払い」（せいもんばらい）はその後も毎年一月に行なわれて、年々元町通りの買い物客をふやすようになり、一挙に元町を通る人数増加の大きな要因となった。

このようにして、時代は昭和期を迎えるわけだが、元町の通行人の気持ちの中に、実用的な目的からだけではなく、なんとなく元町通りをそぞろ歩きしたくなって歩くようになる、いわゆる真の意味での元ブラ・意識、あるいはムードがめだち出したのは昭和の初め頃からだと思う。むしろ、大正時代中期から末まではその準備時期だったといえるだろう。そのムードづくりの第一に大正十五年に元町通りの一丁目から六丁目まで各所に二百基も設けられた有名な鈴蘭灯があると思う。当時の金で一基二五〇円もかかったというから、べらぼうな巨額である。だが、この当時としては破格のセンスのある町の電飾化によって、元町通りの名はそれまで以上に近代的な目で市民、いや全国の人々から見られるようになったし、そんなムードのある街をそぞろ歩いてみたいという人々がぐっとふえたことは事実である。この時こそが「元ブラ」の愛称の「誕生日」だったといつてよい。

（五〇・七・九記）

新品の車より、よく手入れした古い車の方が「はきよい」。



れる人たちがその階層のマネをしたがる、ということ。
建設省関係で調査をやっている人に聞いた話だが、日本人が自分で持ちたがっている家の構造は、いかにモダンなデザインで、セントラルヒーティングがつき、庭の一角にゴルフの練習用のネットが張ってあるうとも、根本的には、日本の農村の地主さんの住む中型以上の農家と変わらない、というのである。

自分で家を持つ以上は、むかし自分の家と田畑を持っていた地主と同じようにやりたい——すでに農地解放ですべてが地主となっても、家の構えがちがうのは腹が立つ。ムスコまたはムスメのムコがサラリーマンになって

一応家を建てるとなると、年寄りの意見をことさらに聞かなくても、都会の二世の頭の中には、村の家々を見下していた地主の家のイメージがこびりついている。

その典型は、田中前首相が新潟県の故郷に、お母さんのために建てた総檜造りとかいう日本建築である。

アメリカに住んでみて、家具屋さんで驚いたのは、赤と金色で飾りたてた、複雑な浮彫りのついた、日本人なら悪趣味のチャンピオンとしかいえない家具。車の内装にも、ステレオのケースにも同様のものがあって、これらを総称して「メディテレンニアン」(地中海風)という。

もちろんニューヨークの周辺には、イタリア、ギリシア、ラテンアメリカ出身の人たちが実に多いが、この人たちがつまりメディテレンニアンをお願い客だ。

これも田中さんの邸宅と同じことで、米国へ移民としてやってくるまえ、彼等の住む町や田舎の大地主——同時に貴族の称号を持っていることが多いが——のお屋敷の客間の十八世紀か十九世紀の室内装飾の「キンキラキン」が彼らのあこがれ。それがプラスチックであろうと合成繊維であろうと、同じようなものを自分の客間や寝室にもち込めるのだから、これが生き甲斐ということになったのであろう。

さて、駕籠についても同じ。乗物といわれる塗りの駕籠は、維新前は、しかるべき階級の人間しか乗れず、町人は金持ちでも、粗末な竹や木とタタミのものに乗っていた。

今は変って、これに当たるのが、運転手付きの会社、あるいは役所の車。日本の会社の社長が年をとってヨボヨボになっても(なればなるほど)社長をやめたがらないのは、社の車と運転手が手放せないからという。

黒い車に、ピカピカのクロームがついたのは、黒塗りに真ちゅう金具の光る乗り物と共通した威厳がある。乗用車の中で、黒や地味な色の圧倒的に多いのは日本だから、この理屈は間違いないと思いますけどね。

淀長立見席 43



SF映画と人間サマ

淀川 長治 (映画評論家)

映画が生れて八〇年。その映画すなわち大活動写真の元祖こそがSFなんだ。

映画とSFは切っても切れぬ深い仲。そのSF映画について書けとは、つまるところSF映画その今日までの題名を書くだけでこの二頁おしまいということだ。

まあそれくらいSF映画は多く、その本格第一号こそが今をさる七十三年、リュミエールなる兄弟の発明とフランスの誇るその活動写真を用いてここにジュールジュ・メリエスなる奇術師兼写真師兼興行師えとせとらのその男が、全三十場、映写時間九分の大長篇『月世界旅行』(一九〇二)を発表したるが始まりのハジマリ。

当時は五分の映写をもって常識とした。それが九分ということはまさに今回の三時間四十分級の超大作。かの有名その名を今に伝えたるアメリカ大活劇第一号『大列車強盗』(一九〇三)にしてからに、その上映は八分のその場数(ばかり)は十四場。

というわけで活動写真こそはトリックの面白さ。これには小説も芝居もかなわねえ。そこでSFは早くも連続大活劇に仕組まれて「殺人光線」「見えざる手」あるいはハアリイ・ホウデニー主演の「人間タンク」(一九一九)大正八年の神戸新開地でこの今のロボット活躍の科学興味を早くもたんのう。

さて少しくタイムをとばしドイツ映画フリッツ・ラング監督「メトロポリス」(一九二七)の人造女性。あるいはイギリス映画ウィリアム・キャメロン・メンジス監

督「来るべき世界」の未来戦争。かくてアメリカも空に海に地下にと「キング・コング」にいたるまでそのSF映画は「二〇〇一年宇宙の旅」のその二〇〇一の本数くらいを数えあげられるであろうほど、SF映画の製作はモリモリのザクザク。つまるところSFは映画の興行に損のない宝の山。

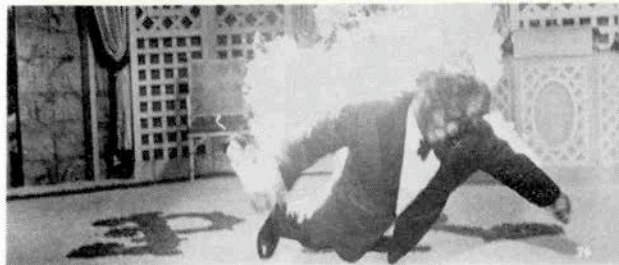
ついに今も電話がかかり見知らぬお人から「タワリング・インなんとかちゅうのは見て面白いですか」の御質問。これはSFとは申せぬが、このパニック映画の流行もSFとは血をつないだ兄と弟。見るのがこわく見るのが面白く、しかもやがてこれが現実にな。

と申せばSFで未来は天国は一本もない。SFのすべて、これ未来は地獄じゃ。それを見にゆくこちとらの哀れ。しかも半ば信じて口を開けての驚き。ああ人間とは善なるかな。

さて人間サマはこのSFに対し、いかなる人間自身の進歩発展その感激を抱きしや。

ところで今をさる七十九年のその昔。エジソン会社が「接吻」と題し、画面上に夫婦の正しきつつましき接吻そのさまを公園のベンチにおいて見せしところ、これがアメリカでびっくり仰天。たちまちここに検閲なる黒き手が伸びた。

タイムをさらにとばしてウィリアム・ワイラー監督一九三六年作「この三人」こそは実はレズを描かんとして



▲タワーリング・インフェルノ

アメリカ当局に脱まれ、これを「この三人」(ジーズ・スリイ)と、女二人男一人の関係に変えての苦心の映画化。これがよほど口惜しかったか、ワイラーこれより二十五年再びこれを「噂の二人」でついに思いをとげたが「この三人」ではかくれたレズに興味を見せたその観客たちがここに「噂の二人」(一九六二)これを見て、なんだレズじゃないか。もはや二十五年の時の流れの今にいたってはもう驚かぬ。

ヘディー・ラマーンのウィーン生れの女優、最初その名ヘディー・キースラと称し、チェコ映画「春の調べ」(一九三二)に主演。この原名「エクスタシー」。これがスード第一号。彼女全裸で馬に乗る。あれまあイヤラシイ。あれまあオモシロイ。大評判。ところが日本では神を恐れぬ破れんち映画とバサリグサリの大カット。これが今をさる四十四年前。

それが今やオール・ホモの「真夜中のパーティー」、スードどころか「エマニエル夫人」。

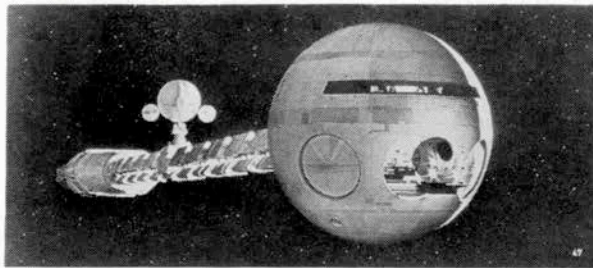
思えば科学のそのSFは、映画に未来を示しもするが、人間サマその精神その神経その道徳のワクの未来図は映画検閲ある限り作ることままたらない。

ところで六月初めニューヨークに旅をして、そのマンハッタンのタイムズ・スクウェアの真只中で三年ロングランの「ディープ・スロート」。

毎年この地に行くも今さらこの年さらして「ディープ・スロート」でもあるまいと、そこをよけてはいいたものの風の便りにこれを輸入と聞かされて、さてどこをどうカットするであらうかとひるの一時にチラと覗くや、二〇〇人劇場に見物約四〇名。さてその映画聞きしにまさるその派手さ。チラと見えますに非ずして見せます動かしめす画面いっぱい男性自身。ひるの日なかにこれ見るアホら。

お前(私)もじゃんか。というわけで人間サマのその精神感覚SF的足どりのそのスピードも科学に負けぬランニング。

▼2001年宇宙の旅



女体百景

《37》

H・ジュニア

え・浅野俊一

女ドラキュラ

フラメンコは、ただ甘く切なく優雅で華麗と、たかをくくっていたら、間違いであった。

ここは、本場のグラナダノ サクラメンテの聖なる丘のほら穴だ。

ドームの中は暗く、紫煙が立ち込め、かき鳴らす狂気のギターに乗って、一陣の風と共に、一人の修道僧のような、深刻な面持の男の踊り手が、タタタタターと、登場すると、堂内、にわかに妖気と殺気が流れた。

男は、必死に足を踏み鳴らし、身をねじり、くねらせて、我身を亡びに導く最大の敵、性の欲望と戦っているのであろうか？ 汗と血と砂にまみれ、欲望に身をこがし、七転八起の末、魂が救いを見出したその高貴な一瞬、踊り手の肉体は、抜けがらのように舞台の上に停止し虚立しているに過ぎない。

H・ジュニア氏は、フラメンコの踊り手ではないので踊って悟りを開く訳にいかぬ。従って、次々と登場する女性の踊り子の品定めにも、どうしても忙がしくなる。

スペイン女は、蔭のないバリジャンヌと対照的に、全身蔭だらけだ。鼻異様に高く、ひたい秀で、頭髮をひき

つめた頭がい骨はかっこいいが、目も髪も黒、肌も浅黒く不潔に見える。アラブの血が交っているからかもしれない。ギリシャ女と同様だ。一般に「女は不潔だ」と言った古代ギリシャの哲人プラトンの言葉の意味が、ここスペインまで来て何となく分った気がするもの不思議だ。

スペイン女は、笑っていても、ドイツ女の明朗な清潔さはない。逆に言えば、きたなくよくれた魅力を持っている。くずれた魅力だ。

日本女がよこれると、あわれで悲惨だが、スペイン女は、よこれて不潔で、かえってたくましい。肉体労働者のよこれ方だ。

H・ジュニア氏は、不潔な蔭を嫌いながら、かげりの魅力、否、魔力のとりこになってしまったのである。

肩に垂れた黒髪の奥に輝く黒ダイヤのような目がスゴイ。色黒で面長で、やせたホオが素敵だ。口元も締まっている。さぞかし、あそこも締まっているに違いない。

しかも、スラリと伸びた長い脚を見事にあげてフラメンコを踊るのだからたまらない。

一人の踊り子が、H・ジュニア氏のハートを射てしまった。H・ジュニア氏ならずとも、男は、こういう女の挑発には極めて弱いのだ。

H・ジュニア氏は、友達との約束までスッポかし、三日三晩通いつめて、遂に、三晩目に、彼女を、彼女のアルバイトマンで抱かせてもらえるまで行っただが……何と彼女はメンスで、その夜、フラメンコを休んでいたのである。

香がたかれ、ムレて、スエた臭気と入り混って、狭く暗い女の寝室に漂っている。

「メンス中だから、ちようどいいわ」

と、彼女は言う。妊娠しないから、ジカにやってもいいと言うのだ。

「さあ、早くノ 抱いて丁戴ノ」

と言うのである。



一度に逆流し始めたのだ。

〈吸血鬼には、女もいるのか?〉

実際、彼女は、彼に尻を向けたかと思うと、逆向けにH・ジュニア氏に馬乗りになり、彼の血染めの男根を尺八し始めたのである。

ああ、何という凄絶さよ!

彼女は口のまわりから顔全体にかけて、真赤である。

自分の血を自分が吸うのだから勝手と言えど勝手だが、血と精液の混合液にヌルヌル光る珍棒をなめる姿は、正しく狼女の姿そのものであった。

『オー、女ドラキュラ!』

と、H・ジュニア氏が内心叫んだとたん!

何という事であろう!

彼女のオマンコーは、ガバリツとばかり、彼の顔の上に落下し、彼の口を封じたのである。

事、ここに到っては、後へは引けぬ。

もともと、H・ジュニア氏は、いささかゲテ趣味の方も心得ている。どちらかと言えば、メンスの女を抱くなんて、好きな方なのだ。

「では……」

とばかり、勢に乗ったジュニアを血に染めて、一気加勢に挿入した。

大したにおいが、鼻先を襲う。

男根はもちろん、陰毛のつけ根から玉々の袋まで、血まみれにして、H・ジュニア氏は、ピストン運動を繰返し、行き着く処まで行き着いたのである。

ここまでは、まだ納得づくであった。

しかし、次なる光景に接したH・ジュニア氏の血は、

正しく、他人の血を吸う結果と相成ったH・ジュニア氏こそ、ドラキュラ族と親戚になった訳である。

吸血鬼は、ドラキュラ伯爵の域に出るとばかり思っていたのは浅学であった。

吸血鬼はスペインの性?なるサクラメンテの丘にも出たのだ。

H・ジュニア氏は、ここで、女ドラキュラに弟子入りさせられた訳であるから。

ホテルに帰ったH・ジュニア氏は、自分のパンツ姿を鏡にうつしてほくそえんだ。

よほど拭いたつもりが、まだボツと赤く、局部の処が、ドラキュラの血でうつすら染まってきたのではなにか。

ぴっと・いん



でも和やかなムードだ。

★かてな満二歳
スナック「かてな」がこ
の26日に二周年を迎える。
「二周年に何かをやろう
かとも考えたけど、まだ二
年位ではね。三年とか五年
とか節になるときには何か
やりたいんですがね……」
とマスターの嘉手納好宏さ
んは二周年を迎えてますま
す張り切っている。

洋酒の種類も豊富で、料
理も本格的なものを出して
くれる。
生田区中山手通一丁目九〇英健ビル
1F ☎三三一一三六
5・30PM〜1AM 無休

★陽が落ちると居酒屋へ
スペインの心にあふれて

本格的なタブラオ・フラ
メンコが8月1日オープン
した。フラメンコの踊りと
ギターの迫力を肌で感じて
飲むサングリア(スペイン
のワインカクテル)は、ま
た格別の味。仕事の疲れも
生きたる喜びも忘れるとい
うもの。

LOS・GITANOS

(ロス・ヒターノス)ジブ
シーたち。東伸一矩さん
ほかの踊りはすごい熱気。
木の幹をくりぬいたままの
椅子もいし、長いアプロ
ーチの途中に、造型作家植
松圭二さんの作品が置かれ
ている。

■ロス・ヒターノス/生田区下山
通3丁目22三石ビル1F
☎三三九一一五四三
6PM〜2AM 水曜日休み
ジョータイム18時 10時30分、12



マスターの嘉手納さん

最近、椅子を布張りに変
えたし、陽気に冗談をとば
し合う常連も増えている。
狭い店が多いなかで、ぜ
いたくなスペースをとり客
層も広く、肩のこらない零
埋気ということもあってと

時15分から各30分
メニューサングリアとサラダとパ
ン二五〇〇円(ジョーチャージこ
ろ)ほか

★アノ店、コノ店

ぶらりぶらぶら夏の宵

ダイワナイトブラザ(生
田区中山手通一丁目24)に
はユニークな店が集ってい
る。地階には粋な社交場
「おしゅれ貴族」、一階の
奥にはかわいい感じのスナ
ック「珍地理屋」、手前
には炭焼きステーキ「田島」、
二階にはムーンライト出身
のママとも子さんの店スナ
ック「ブランコ」、奥には
ピアノトリオと女性ボーカ
ルがきけるサロン「アルバ
トロス」、四階には高級なミ
ニクラブ「ブルーリボン」、
そして五階では最近オーブ



いらっしやいませ(おしゅれ貴族)

ンしたナイトレストラン
「火の鳥」、六階にはイメー
ジを一新した「サントノー
レ」、小曽根実トリオのステ
キな演奏が楽しめます。
今宵、あなたはどの店へ
行かれませうか?

●神戸うまいもと ドリンキング

クラブ

よさの

生田区下山手通一丁目五
ゼウスビル6F
☎三三九一一五三八 八七〇六

港コウベならではの豪
奢なクラブ。それが「よ
さの」です。
シャンデリアの輝きと
深々としたソファ。そし
て、ピアノトリオとエレ
クトーンのステキな演奏
が夜をひととき華麗に彩
ります。

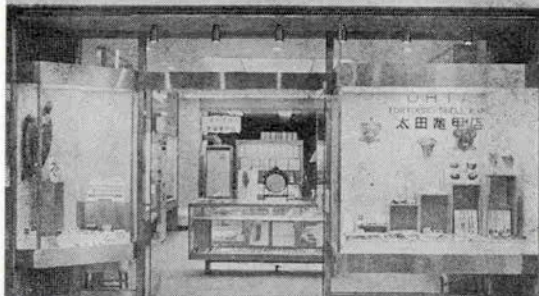


豪華な「よさの」店内

昼間の仕事のわずらわ
しさから離れて、ゆった
りとしたVIPの気分
で夏を心行くまで満喫
できる紳士の社交場、そ
れが「よさの」です。

また、姉妹店にクラブ
「なざさ」(☎三三三一一
八六二六、三三三一一二
一〇〇)「グリル&バー」な
ざさ」(☎三三三一一三六
七〇)もあります。

太田鼈甲店

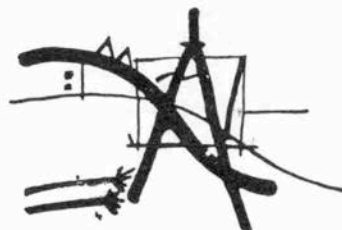


べっ甲美術品とアクセサリーの専門店

太田鼈甲店

元町1丁目 TEL(331)6195

額縁絵画・洋画材料 室内工芸品



末積製額

三宮・大丸北
トア・ロード
331-1309・6243

KOBE SHOPPING GUIDE

おすし
てんぷら



栄
彌



本店 大丸前・三宮神社東

TEL(331)5772

(毎週水曜日休み)

支店

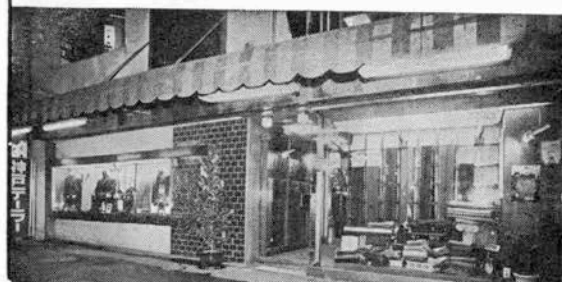
さんちか味ののれん街
TEL(391)5233

(第3水曜日休み)

営業時間
A.M.11.30~P.M.9.00

高級紳士服専門店

神戸テラー



さんちかメンズタウン TEL(391)0388

生田区北長狭通2(阪急西口) TEL(331)2817・3173

おもちゃの
五反田 カメラ

水がうれしい夏！
チビッコあつまーれ。

三宮方面でのお買物は……	三二九	一四〇四五
さんか店	三三〇	一四九六九
三宮店	三三一	一四九六九
元町方面でのお買物は……	三三二	一〇〇九〇
元町通三丁目山側	三三三	一〇〇九〇
神戸駅前方面でのお買物は……	三三九	一〇七六八
神戸駅前地下街	三五一	一六〇〇二



ハイセンスの紳士服で最高のおしゃれを！

三惠洋服店

元町4丁目 TEL(341)7290

KOBE SHOPPING GUIDE

三宮センター店

- 3階 レストラン
2階 喫茶・パーラー
1階 洋菓子
アイスクリーム
地階 喫茶室

皆様そろってぜひご利用
下さいませ



北 欧 の 銘 菓



ユーハイム・コンフェクト

■本社・工場・熊内店 神戸市灘区熊内町1の8(市立美術館東隣) TEL 221-1164
■三宮センター街本店 神戸三宮センター街(洋菓子・喫茶・レストラン) TEL 331-2421

でんわ・
321—〇六三五
321—〇六三四
331—三七七一

ムサシ

やっぱりうまい
むさしのとんかつ